入選

# 何のために働くの？

第六学年　池田知広

ぼくは、好きなことや楽しいこと、理想のために働くのだと思う。

ある日、ぼくの家では大学の話が持ち上がっていた。東大の話や京大の話、青山学院などを様々なことを話し合っていた。

その中にお金の話があった。お父さんは、「いや〜大学の学費は高いから頑張って働くか」と言っていた。ぼくは、ここで初めて大学の学費が高いことを知った。「じゃあ、ぼくは大学に行かない方が家計的にも助かるの？」と聞いてみた。すると今度は、お母さんが「いいや、行ってほしいよ」と言った。「なんで？」ときくと、「だって、あなたが立派な大人になれるためにはたらいているんだものと。

お父さんは「自分の理想をかなえるため」だと言っていたし、お母さん は「他にも好きなことをしたいね」と言っていた。

20 × 20

でもやはり大変じゃないかと聞いてみたら二人とも声をそろえて「全然、むしろ楽しいよ！」と言っていた。だから僕は、好きなことや楽しいこと、理想のために働きたいと思うのだ。

20 × 20